

教科目名 建築学概論 (Introduction to Architecture)

学科名・学年 : 都市システム工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 後藤勝雄

授業の概要			
<p>建築のデザインと安全性を中心に建築学の概要を学ぶとともに、建築空間の認識を目的に演習を通して建築設計(二次元)や建築模型(三次元)で表現する方法を体験する。また、プロジェクター(画像)で建築デザインの紹介を行い建築空間の認識を理解する。</p>			
達成目標と評価方法			大分高専目標(B2)
<p>(1) 建築空間の構成とその安全性について理解する。(課題) (2) 建築の標準的な図面表現の方法を理解する。(課題) (3) 設計演習や建築模型の製作を通して、建築の仕組みや建築学の体系を理解する。(課題) (4) 建築用語と各部位について理解する。(定期試験と課題)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1,建築学とは, 建築学の大系	デザイン性と安全性を持つ建築の概略を理解する。	【理解の度合い】
2	2,演習 (建築空間と構造)	ゼネコンの仕組みと建築設計の本質について理解する。	
3	3,演習 (建築空間とデザイン)	紙を用いた立体構成 (折り紙建築の製作。)	
4		日本の住宅様式, インテリア, ダイニングキッチン(住宅図面を読む) (ゾーンと動線の重要性を理解する。)	
5	4,住宅 (住宅空間の構成) ゾーニングと動線	高齢者と住まい, 高齢化時代の安全設備	
6	5,住宅 (高齢者とバリアフリー)	住宅を平面図で作成 (建築の図面表現方法を実践し理解する。)	
7	6,演習 (二世帯住宅の設計)		
8	7,演習課題 の解説	コンセプトと図面表現について講評をおこなう。	【理解の度合い】
9	8,日本の建築家と作品紹介	大分の建築作品	
10	9,演習 (住宅の模型)	演習 で作成した二世帯住宅を立体的に模型に仕上げる。	
11		(平面図, 立面図, 断面図の図面の整合性を理解する。)	
12			
13			
14	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	<p>講義: 毎回資料を配布します, 試験は資料からの出題となりますので, 必ずファイリングしておくこと。 演習: 欠席等で, 定められた時間内に完成できなかった場合は, 宿題となることがある。</p>		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	なし		
関連科目	公園緑地計画, 構造力学, 構造力学		
総合評価	<p>達成目標の(1)~(4)について定期試験と課題で評価する。課題(70%)と試験(30%)で100%とし, 授業態度・出席状況を考慮して, 20%を上限に減点しこれを総合評価とする。総合評価が60点以上を合格とする。</p>		